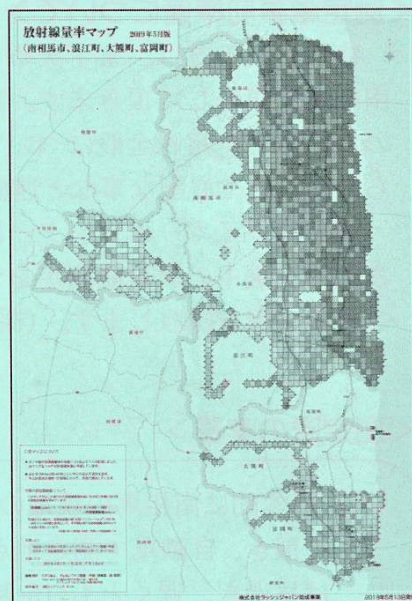


第 19 期 南相馬放射線量測定プロジェクトのご案内

2011 年 6 月から始めた南相馬市の空間線量率測定とそれに基づく汚染マップ作製は、2020 年 4 月で 19 回目、10 年間継続したこととなります。これも、ご協力くださった皆様、団体様のおかげと、感謝申し上げます。2011 年 6 月には、追加外部被曝線量が年間 1 ミリ・シーベルト未満の面積は、5%程度しかありませんでしたが、2019 年 10 月（第 18 期測定）では 92%に拡大し、空間線量の大幅な改善が見られました。これは放射性セシウムの土壌沈下で、土壌中にはあっても土壌の遮蔽効果で空間線量が下がったとみられます。しかし第 18 回の測定で採取した土壌の分析の結果は、空間線量の結果とは異なり、放射性セシウムの濃度が依然として高い事が分かりました。この継続的定点観測測定活動は汚染地域の住民の方々の生活環境や今後を考えるうえのみならず、原発事故の影響を明らかにする大変貴重な活動と考え、続行したいと考えております。是非測定隊へご参加くださいますようお願い致します。尚、第 17 期からは規制解除された大熊町の一部も測定対象とし、現在、南相馬市、浪江町、富岡町、大熊町の 4 町を測定しております。



<募集要項>

・ **実施日時** 第 39 次 2020 年 4 月 3 日(金) ～4 月 6 日(月)
 第 40 次 2020 年 4 月 10 日(金)～4 月 13 日(月)

・ **集合場所** 放射能測定センター・南相馬（とどけ鳥事務所）
 [住所] 〒975-0031 南相馬市原町区錦町 2-67（スーパー・サイヤ隣）
 [Tel/Fax] 0244-24-5166（とどけ鳥事務所電話）
 ※各自現地集合をお願いいたします。交通費は参加者でご負担ください。
 尚、ご不明な点は南相馬市の「放射能測定センター・南相馬（とどけ鳥事務所）」
 へご連絡をお願いいたします。（開所日は火～金 10：00～16：00）
 担当：神野英樹 090-5616-9871（携帯）

・ **集合時間** 第 39 次、第 40 次共に、金曜日の 17 時 30 分（とどけ鳥事務所）

・ **参加費用** 無 料（宿泊代のご負担はありません）

・ **宿泊先** 宿泊先は以下です。

第 39 次

[宿名]「松の湯旅館」
[住所] 〒975-0003 南相馬市原町区栄町 1-59
[Tel/Fax] 0244-23-3235

第 40 次

[宿名]「双葉屋旅館」
[住所] 〒979-2121 南相馬市小高区東町 1-40
[Tel/Fax] 0244-32-1618

・ **応募方法** 下記メール、又は電話・FAX宛に必要な事項をお知らせ頂き、ご応募下さい。

<NPO 法人 チェルノブイリ救援・中部事務局宛のメールおよび電話・FAX>

●メールアドレス：chachubu@muc.biglobe.ne.jp

●電話・FAX：052-228-6813（月・水・金の 10 時～17 時）

※FAXは、24 時間、毎日受け付け可能です。

●必要事項 お名前、ご住所、電話番号(FAX)又はメールアドレス、年齢、
参加する日(第 39 次又は、第 40 次)

◇募集期間◇ 3 月 30 日（月）まで。但し、募集人員に達しましたら締め切りになります。

◇募集人員◇ 第 39 次、第 40 次 各 12 名。

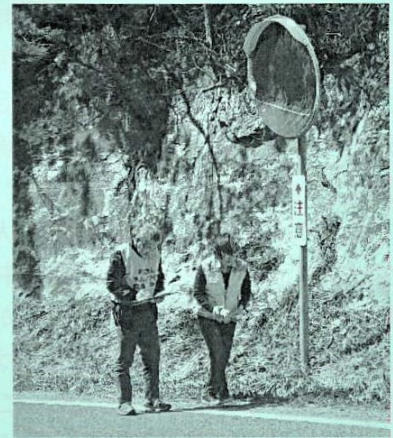
★名古屋から現地までの交通ルートのご案内が必要な方は、ご一報ください。

NPO 法人 チェルノブイリ救援・中部

＜測定隊事前準備について＞

参加される方は、まず決められた時間に放射能測定センター・南相馬に集合して頂きます。集合後、センタースタッフが測定器の使い方と測定隊全般についての詳細説明をします。その際わからないことや心配な事など遠慮なくご質問ください。

測定はガイガーカウンターによる空間線量率（ μ SV/時）です。また、土壌中の放射能測定をセンターで行うため、指定されたところの土壌を採取します。（採取用道具は準備しております）



＜測定隊の実務＞

- (1) 基本的に南相馬の現地の方 1 名と測定隊参加者 1 名で 1 チームとし、現地の方に運転して頂き、自動車です測定地点を移動します。1 日 1 チームで約 35 地点を測定。終了は早ければ昼過ぎ、遅くとも 15 時頃には終わります。測定後の集合場所はその都度担当者がお知らせします。
- (2) 測定地点は予めセンタースタッフが決定し測定地図に記入。それを持って現地の方に案内して頂きます。
- (3) 測定場所に到着したら、1 チームに 2 台渡された測定器で地上 1m と 1 cm の空間線量率を測定します。測る際に必要な道具も渡されるので、それを利用して測定します。測定方法は予め説明があるので心配ありません。
- (4) 土壌測定のための土壌採取は各チーム 5 か所程。採取場所は地図に記入されています。この測定に必要な道具類、マスク、軍手、ビブス（チョッキ）は出発前に各組に渡すので各自準備の必要はありません。
- (5) 空間線量率の高い場所の測定は、タイベック（防護服）と靴の上に履くシューズカバーを用意してあるので、それを着用します。但し、初めての方は高線量の場所の測定はしません。
- (6) 各自準備するものは、雨天時の雨具や寒暖調整の衣服、下着などです。
- (7) 昼食は各自店で調達するか、飲食店でとります。チームで相談してください。
- (8) 測定後は現地の方々は解散。参加者の方々は放射能測定センターに集まり靴を洗います。その後、被災地の各所を視察します。視察場所は、センターで決めてあり、センター関係者の案内で向かいます。視察後は宿に帰り、食事、交流会などを行います。
- (9) 測定作業完了後の 2 日目に帰る方は、測定終了後一旦測定センターに戻り、その後解散します。

測定隊の予定

金曜日	放射能測定センター・南相馬に集合 説明会
土曜日	測定 1 日目
日曜日	測定 2 日目 （夕食時：ごくろうさま会予定）
月曜日	朝食後解散